

明和町の弥生時代^{や よ い じ だい}

弥生時代は約 2200 年前から 1700 年前の時代です。

弥生時代になると青銅や鉄といった金属^{せいどう きんぞく}を使うようになり、これまで石器や木の道具だったものが金属製に変わっていきました。

弥生時代後期の土器にはパレス壺と呼ぶ、文様を描き、赤い色を塗った壺があります。金剛坂^{こんごうざか}にある金剛坂遺跡からはパレス壺が見つかり、現在は東京国立博物館で所蔵されています。

弥生時代の中頃になると、方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}と呼ばれる四角く、周りに溝が掘られた大きなお墓が登場します。金剛坂遺跡からはたくさんの方
形周溝墓が発掘調査で見つかったほか、金剛坂遺跡は環濠^{かんごう}と呼ばれる溝で囲まれた集落があったことが発掘調査によりわかっています。



明和町文化財解説シート
「明和町の弥生時代」



金剛坂遺跡のパレス壺（東京国立博物館所蔵）

旧石器

縄文

弥生

古墳

古代

中世

近世 近代

キーワード：縄文時代、定住、押型文土器、環状壺型土器